

行動災害防止チェックリスト

事業者用
転倒予防

新見署管内（高梁市、新見市、加賀郡の旧賀陽町地区）では**転倒災害**が多発しています。**転倒予防**のポイントをチェックし、事業場の活動を充実させましょう。

通路・床面・階段の4S活動をしている

Yes / No

転倒災害の典型例は**通路・床面・階段**での「**滑り・つまづき・踏み外し**」です。

4S活動（整理・整頓・清掃・清潔）を徹底しましょう。

通路、階段、出口に物を放置していない

床の水たまりや氷、油、粉類などを放置せずに都度取り除いている

転倒しにくい環境・方法を整備している

Yes / No

転倒リスクの高い場所・時間帯・作業方法を洗い出し、**リスクの背景**を分析しましょう。リスクの高いものから**転倒予防対策**を講じ、関係労働者に**周知**しましょう。

通路等について明るさ（照度）など**転倒しにくい環境**を確保している。

ながら歩きの禁止、手すりの使用などの**基本のルール**を徹底している。

転倒予防対策の**労働衛生教育**を行っている。

作業に合わせて靴を選んでいる

Yes / No

適切な安全靴・作業靴を選びましょう。有効な安全靴・作業靴は**作業現場によって異なる**ことに注意しましょう。選ぶポイントについて、**屈曲性、重量、重量のバランス（重心の偏り）、つま先の高さ、靴底と床の耐滑性、サイズ**があります。

危険マップを作成している

Yes / No

事業場の見取図などに**転倒リスクのある場所**を記入して、危険マップを作成しましょう。危険マップの作成にあたっては、**職場全員参加**で行い意識の高揚を図るほか、**職場巡視、ヒヤリ・ハット活動等の結果の活用**なども行いましょう。

転倒リスクのある場所を見える化している

Yes / No

危険リスクのある場所について**注意事項・順守事項**を検討し、ステッカーを貼りつける等により**危険リスクが誰でも一目で分かる**ようにしましょう。特に新入社員などにも分かりやすいように工夫しましょう。

転倒しにくい体づくりを行っている

Yes / No

転倒災害は、**疾病、加齢に伴う心身機能（筋力、バランス力、視力、敏捷性、認知機能など）の低下**などの個人的要因も大きく関係しています。**身体的能力のセルフチェック、転倒予防体操、ストレッチ**などによって、各労働者の身体的能力の把握・改善を行うようにしましょう。

新見労働基準監督署では**備北地区行動災害ゼロ運動**を実施しています。岡山労働局のホームページにおいて、**運動の趣旨、実施要領等**を公開しています。**順次、行動災害予防の説明動画、対策事例**など、行動災害予防対策に関する情報を掲載していきますので是非ご覧ください。

